

A 分け方を変えると

基礎～標準 1 | 目安 20分 | 全8問 | 選択は記号に○

本文のページを横に並べると読みやすくなります。字数指定では句読点・かぎカッコも1字と数えます。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 物を分類するときは、分ける基準と目的の関係を確かめたい。同じ物でも、基準を変えれば別の仲間に入る。一つの分け方を、物そのものの変わらない特徴だと思い込まないことが大切だ。
- ② 工作室の道具を片付ける場面を考えよう。次に使う道具を探しやすくしたければ、切る道具、貼る道具、測る道具という働きで分ける方法がある。はさみとカッターは形が違って、同じ「切る道具」の仲間になる。
- ③ 一方、使わなくなった物を材料ごとに分ける場合は、金属、木、プラスチックなどに目を向ける。このとき、一つのはさみに金属とプラスチックの部分があれば、働きによる分類とは違う扱いが必要になる。目的が違うために、注目する特徴も変わるのである。
- ④ 分類は、物を整理するのに便利な道具である。しかし、二つ以上の働きを持つ道具のように、一か所に収まりにくい物もある。うまく分けられない物が出たときには、無理に押し込む前に、基準を見直すきっかけにしたい。
- ⑤ 例えば、筆箱を整理するなら、使う回数で分ける方法も試せる。よく使う鉛筆と消しゴムを取り出しやすい所に入れば、働きも材料も異なる二つが、同じ場所に並ぶだろう。

問1 この文章全体の話題として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 工作室で使う道具の安全な扱い方。
ウ 材料による道具の丈夫さの違い。

- イ 目的に応じた分類の基準の考え方。
エ 使わなくなった道具を修理する方法。

問2 ①段落で、分類するときに何を確かめたいかを述べた文はどれですか。一つ選びなさい。

- ア 最初の文
ウ 三番目の文

- イ 二番目の文

A 分け方を変えると

基礎～標準 1 | 目安 20分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題1ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問3 ②③段落を合わせると、どのようなことが分かりますか。一つ選びなさい。

- ア 分類は、物の働きよりも材料を基準にしたほうがよい。
- イ 物は形が違ってても、どの目的でも同じ仲間に分類される。
- ウ 一つの物に材料が二つあれば、働きで分類することはできない。
- エ 同じ物でも、目的によって注目する特徴や分け方が変わる。

問4 ③段落から、目的が違うと何が変わるかを表した一続きの言葉を抜き出しなさい。（6字）

--	--	--	--	--	--

6

問5 ④段落の要点を、二十五字以上四十字以内でまとめなさい。

20

40

問6 ⑤段落だけを「筆箱は使う回数で整理するとよい」とまとめても、本文全体の要旨にならないのはなぜですか。一つ選びなさい。

- ア 筆箱の大きさが、具体的な数字で書かれていないから。
- イ 最後の段落には、筆者の考えが含まれていないから。
- ウ 一つの分類例だけに狭まり、目的と基準の関係が抜けるから。
- エ 使う回数による分類は、文章の話題と関係がないから。

A 分け方を変えると

基礎～標準 1 | 目安 20分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題1ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問7 「物はそれぞれ、入る仲間が初めから一つに決まっている」というまとめの誤りを直し、三十五字以上五十五字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

問8 本文全体の要旨を、「目的」「基準」の二語を使い、五十字以上七十字以内で書きなさい。
 工作室や筆箱の例だけに限定しないこと。

下書き 必要な内容を整理しよう。

B 形が変わっても

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 選択は記号に○

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 地域の祭りで使う大きなのぼりを、軽い布で作り直すことになったとする。「昔からの形を変えれば、伝統が失われる」という声が出るかもしれない。長く受け継いだものを大切に思えばこそ、変化を心配する気持ちは理解できる。
- ② しかし、重いのぼりを運べる人が減り、祭りそのものが続かなくなったらどうだろう。布の重さを守ることと、地域の人が集まって祝う機会を守るとは、同じではない。残したいものは何かを考える必要がある。
- ③ 伝統を受け継ぐとは、目に見える形を固定するだけではない。その営みが人々にとって持つ意味を確かめ、今の暮らしでも続けられる形を探すことだ。ただし、何を大切にするかを一人で決めては、長く関わってきた人の思いを取り落とすおそれがある。
- ④ そこで、変えようとする人と守りたい人が、これまでの工夫や思い出を語り合うことが役に立つ。「同じ動作をすること」に意味がある場合もあれば、「人々が一緒に過ごすこと」が中心の場合もある。話し合いは、変える部分と残す部分を見分ける手がかりになる。
- ⑤ 例えば、のぼりの色や模様には地域の出来事が表され、布の重さには特別な意味がないと分かったなら、色や模様を残して軽くする方法が考えられる。見た目が少し変わっても、何を受け継いだのかを次の世代に説明できるだろう。

問1 この文章が考えている問いとして最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア のぼりの模様は、いつごろ生まれたのか。
- イ 祭りの道具を作る費用をどう減らすか。
- ウ 伝統の意味を受け継ぎながら、どう続けるか。
- エ 地域の人を祭りに多く集めるにはどうするか。

問2 ②段落で対比されているものとして最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア のぼりを運ぶ速さと、作る速さ。
- イ 道具の特徴をそのまま保つことと、営みの機会を保つこと。
- ウ 昔の人の人数と、今の人の人数。
- エ 祭りに来る人の思い出と、来ない人の思い出。

B形が変わっても

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題4ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問3 伝統を受け継ぐことについて、筆者の中心的な考えと注意点を述べた段落を一つ選びなさい。

ア ①段落

イ ②段落

ウ ④段落

工 ③段落

問4 ③段落で、形だけでなく確かめる必要があるものを表す一続きの言葉を抜き出しなさい。
(15字)

[illegible]

問5 ⑤段落の例から読み取れる、形を変えるとき考え方を、色・模様・布という語を使わず、三十字以上五十字以内に書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

																				20
																				40
										50										

問6 本文全体の要旨を短く書くとき、ほかの三つより優先して残すべき内容を一つ選びなさい。

ア 祭りに使うのぼりは、大きく重いことがある。

イのぼりの模様には、地域の出来事が表されることがある。

ウ 伝統の意味を確かめ、今の暮らしでも続く形を探す。

エ 道具を運べる人数は、地域によって変わる。

B形が変わっても

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題4ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問7 「伝統は、今の暮らしに便利な形へ変えれば受け継げる」というまとめには、どのような大切な内容が不足していますか。③④段落を基に、三十五字以上五十五字以内で説明しなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

問8 本文全体の要旨を、「意味」「話し合い」の二語を使い、六十字以上八十字以内でまとめなさい。のぼりの例だけに限定しないこと。

下書き 必要な内容を整理しよう。

A blank coordinate grid for plotting a line graph. The grid has 20 columns and 4 rows. The vertical axis is labeled with 20, 40, 60, and 80. The horizontal axis is labeled with 1 through 20.

C 記録にないもの

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 選択は記号に○

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 古い町の写真を見ると、昔の暮らしがそのまま残っているように感じる。店の看板や道幅は、文字だけでは想像しにくい様子を伝えてくれる。だが、一枚の写真に町のすべてが写っているわけではない。
- ② 写真を撮る人は、場所や時刻、向きを選ぶ。祭りの日に撮った商店街には多くの人が写っていても、普段も同じようににぎわっていたかは分からない。写っている人の笑顔から、その日の町の全員が楽しかったと判断することもできない。
- ③ そこで、写真を読むときには、写っているものを確かめるだけでなく、いつ、誰が、何のために残した記録かを尋ねたい。そうした背景を知れば、その写真が示せる範囲を考えやすくなる。
- ④ 背景が分かっても、一枚では捉えにくいことは残る。別の時刻の写真、当時の日記、異なる立場の人の話などと合わせると、最初の写真からは見えなかった面が現れることがある。記録が食い違うときも、どちらかを急いで捨てず、なぜ違うのかを調べる手がかりにできる。
- ⑤ これは写真だけの話ではない。学校新聞の記事も、取材する相手や載せる出来事を選んでいいる。記事に書かれていないことが、その日に起きなかったとは限らない。記録は、残された内容と、そこに含まれなかった内容の両方を意識して読む必要がある。
- ⑥ 記録が不完全だということは、役に立たないという意味ではない。ある記録の限界を知り、ほかの記録と結び付けるほど、そこから考えられることは豊かになる。空白に気付くことも、過去を知るための大切な読み方なのである。

問1 写真と学校新聞の両方を含む、この文章の話題として最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 古い写真の保存の仕方。

イ 記録から物事を読み取る姿勢。

ウ 取材で話を聞く相手の選び方。

エ 町と学校の行事の違い。

C 記録にないもの

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題7ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問2 ②段落で述べられていることを、より一般的な言葉で表したものを一つ選びなさい。

ア 記録は一部を選んで残すため、その内容を全体に広げて判断できない。

イ 記録に人の表情があれば、当時の気持ちを正確に説明できる。

ウ祭りの写真より、普段の写真のほうが町の様子を多く伝えられる。

エ 写真を撮った人が分かれば、写真にない出来事も判断できる。

問3 ④段落が③段落に加えている読み方を一つ選びなさい。

ア 記録の背景を詳しく調べれば、その記録だけで全体を判断できる。

イ 複数の記録が食い違う場合は、内容がより詳しい記録を正しいものとして選ぶ。

ウ 異なる記録を比べ、同じ内容の部分だけを取り出して過去の様子を決める。

工異なる記録を合わせ、見えなかった面や食い違いの理由を考える。

問4 ②段落の写真と⑤段落の学校新聞には、どのような共通点がありますか。「選んで」を使い、三十字以上五十字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

																				20
																				40
										50										

問5 ⑥段落の「空白」とは何ですか。本文に即して二十字以上三十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

C 記録にないもの

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題7ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問6 「記録は不完全なので、ほかの記録を信じればよい」というまとめの問題点を一つ選びなさい。

ア 写真の具体例を入れていないため、文章の話題が分からない。

イ 町の歴史を調べる目的が、本文とは異なっている。

ウ 限界を知って複数の記録を結び付ける考えを、別の記録への置き換えにしている。

エ 記録の不完全さは本文に書かれていないのに、付け加えている。

問7 ③段落のように記録の背景を調べても、④段落のようにほかの記録と結び付ける必要があるのはなぜですか。四十字以上六十字以内に説明しなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

問8 本文全体の要旨を、「背景」「限界」の二語を使い、七十字以上九十字以内でまとめなさい。写真や新聞の説明だけにしないこと。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

D 聞くことから始まる

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 選択は記号に○

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 意見が違う相手と話すとき、私たちは自分の説明を分かりやすくすることに力を入れがちだ。しかし、説明を重ねても話がかみ合わないなら、相手が何を問題にしているかを聞き直す必要がある。
- ② 例えば、学級で昼休みの教室の使い方を話し合う場面を考えよう。「静かに過ごしたい」という人に、「友達と話す時間も大切だ」と繰り返すだけでは、対立は深まる。前者が求めているのは、無言の教室ではなく、本を読むときに大声で邪魔されないことかもしれない。
- ③ そこで、「大声が気になるので、落ち着いて読める場所が欲しいのですね」と、自分の言葉で確かめてみる。相手が「そうです」と答えるか、別の説明を加えるかによって、こちらの理解を直せる。言葉をそのまま繰り返すより、どこを理解したかが伝わりやすい。
- ④ 相手の考えを確かめることは、同意することとは違う。理解した後も意見が分かれることはある。それでも、何を守りたいのかが分かれば、話す場所を分けるなど、双方の願いを一部ずつ生かす案を考えられる。
- ⑤ もちろん、自分の困りごとを伝えることも欠かせない。相手に合わせるために黙るのではなく、互いに大切にしていることを言葉にし、ずれていた前提を確かめ合うのである。そのやり取りが、違いを残したままでも一緒に考える土台になる。
- ⑥ 話し合いが止まったときは、説明を強める前に、相手の話をどう理解したか返してみよう。聞き直す一言は、すぐに結論を出せなくても、次に何を考えるべきかを見つける出発点になる。

問1〔10点〕 本文全体の話題として最も適切なものを一つ選びなさい。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ア 昼休みの教室を静かに保つきまり。 | イ 本を読む時間と友達と話す時間の長さ。 |
| ウ 意見の違う相手と話し合いを進める方法。 | エ 自分の意見を短く説明する練習。 |

D 聞くことから始まる

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題10ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問2〔10点〕 ②③段落の例が中心的に示していることを一つ選びなさい。

- ア 使う場所が決まれば、教室での対立はなくなる。
- イ 相手の言葉から受けた印象を、自分の言葉で確かめて理解を直せる。
- ウ 静かにしたいという願いは、話したいという願いより優先される。
- エ 相手の言葉を正確に覚えれば、説明の回数を減らせる。

問3〔10点〕 ④段落で、同じではないと区別されている行動の組み合わせを一つ選びなさい。

- ア 相手の考えを確かめること／同意すること
- イ 相手の願いを知ること／理解を直すこと
- ウ 自分の意見を言うこと／自分の困りごとを伝えること
- エ 場所を分けること／話し合いをやめること

問4〔10点〕 「教室の使い方の例だけを、出来事の順に短くまとめる」という課題は、本文全体の要旨を書く課題とどう違いますか。一つ選びなさい。

- ア 文章の題名だけから、筆者の考えを予想する課題である。
- イ 本文全体の中心的な考えをまとめる、同じ課題である。
- ウ 読み手自身の経験と感想を、自由に書き加える課題である。
- エ 目的に合わせて、文章の一部の内容を要約する課題である。

問5〔10点〕 本文全体の要旨を短く書く際、ほかの三つに比べて省きやすい内容を一つ選びなさい。

- ア 相手の考えについて、自分の理解を確かめ直すこと。
- イ 意見が違ってもしっかり考えること。
- ウ 教室で本を読んで過ごす人がいるという具体例。
- エ 自分の大切にしていることも伝えること。

D 聞くことから始まる

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題10ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問6〔15点〕 「話し合いでは、相手の考えを聞くことが大切だ」というまとめに、⑤段落から加えるべき内容を、三十字以上五十字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

問7〔15点〕 「互いに同じ意見になれば、話し合いの土台ができる」というまとめを、④⑤段落に合う内容に直し、四十字以上六十字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

問8〔20点〕 本文全体の要旨を、「確かめ」「自分」「違い」の三つの言葉を使い、六十字以上八十字以内でまとめなさい。教室の例だけに限定しないこと。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]